

中津川市久須田集落協定の概要

中津川市の最南端阿木地域の中の南西の一角が久須田集落となっています。ほ場整備は昭和 58 年～平成 7 年に行っています。中山間直接支払は 1 期の平成 12 年から取り組んでいます。農地・水保全管理支払交付金は、向上活動のみ取り組んでいます。

市町村・協定名	岐阜県中津川市 久須田（なかつがわし くすだ）			
協定面積 22ha	田 100%	畑	草地	採草放牧地
交付金額 333万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	農地管理費		42%
		道・水路管理費		6%
		共同利用施設整備費		6%
		役員報酬・研修会等費		14%
		積立		32%
協定参加者	農業者35名			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 水路・農道の管理 ● 周辺林地の下草刈 ● 農地の法面管理 ● 自己施工による簡易な基盤整備 ● 高付加価値型農業（そば 40a、辛いも 8a を作付け） 			

【平成 23 年度までの主な効果】

- ・ 集落内の全体水田面積は 23ha あり、内水稲作付面積は 10ha。
水稲以外ではそばや一般野菜を中心に水田活用している。
中山間交付金制度を活用し、集落ぐるみで水田の維持管理を行っている。
- ・ ため池、水路補修にあてるため、積立をしている。
- ・ 協定農用地の拡大については、第 3 期対策において 0.4ha の増となっている。
- ・ 高付加価値型農業の実践として、そば、辛いものの作付けに取り組んでいる。

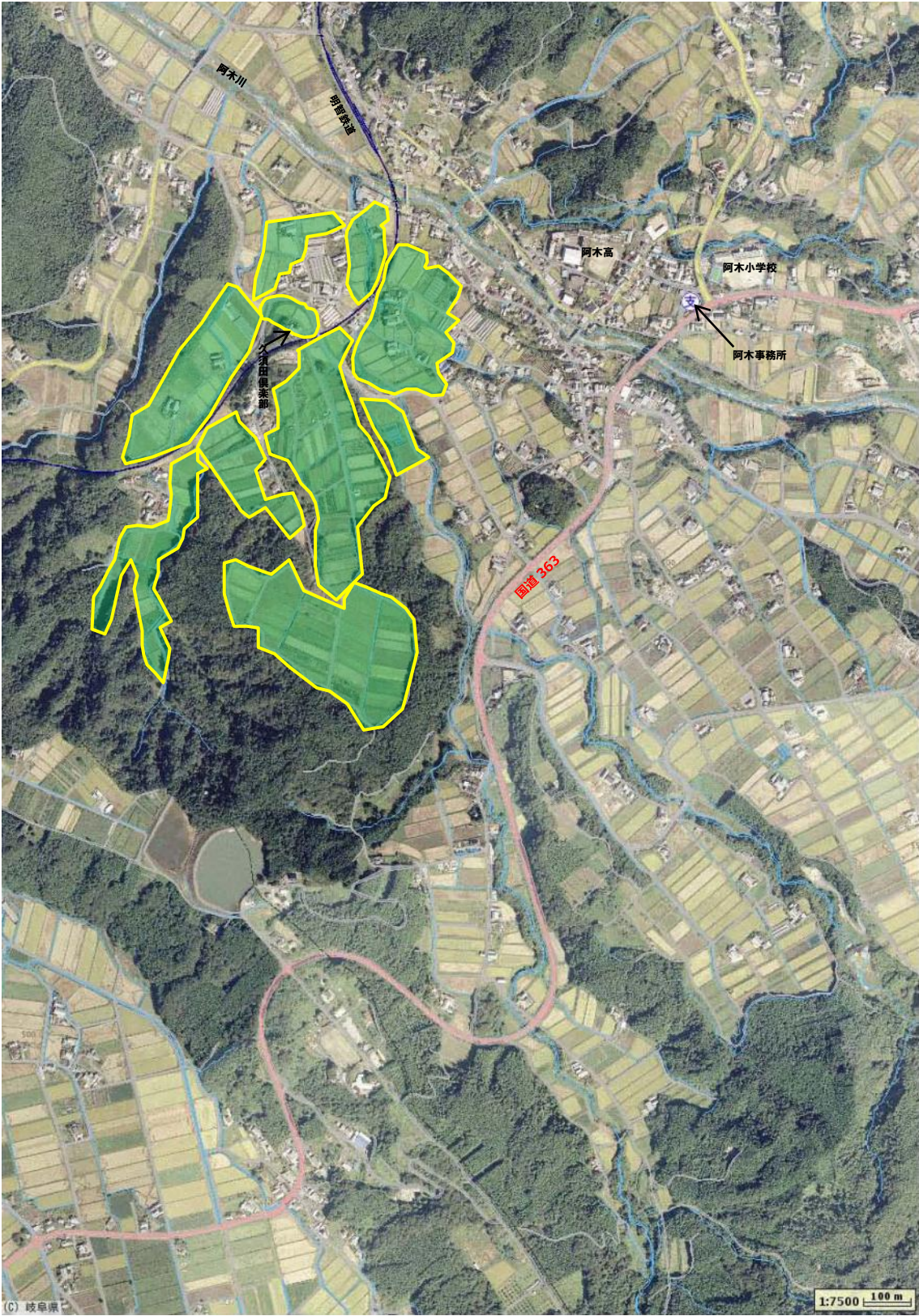
【今後の課題】

- ・ 協定参加者の高齢化による、共同作業への負担。

【担い手の確保、集落間連携、事務局機能の体制整備、人・農地プランの策定に向けた取組】

- ・ 中山間交付金支払制度の取り組みをきっかけとして、隣接する恵那市 豊田集落と連携し、用水路やため池の草刈りを行っている。
今年は 6 月 10 日、9 月 2 日に一斉に草刈り活動を行った。これは毎年行っている。

久須田集落協定 協定農用地図



中津川市黒田集落協定の概要

中津川市の最南端阿木地域の中の南西の一角が黒田集落です。ほ場整備は昭和５８年～平成７年に行っています。中山間直接支払は１期の平成１２年から取り組んでいます。農地・水保全管理支払交付金は、取り組んでいません。

市町村・協定名	岐阜県中津川市 黒田（なかつがわし くろだ）			
協定面積 12ha	田	畑	草地	採草放牧地
	100%			
交付金額 247万円	個人配分			30%
	共同取組活動 (70%)	農地管理費		17%
		道・水路管理費		5%
		共同利用施設整備費		35%
		役員報酬・その他		13%
協定参加者	農業者17名、水利組合 1			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 水路・農道の管理 ● 周辺林地の下草刈 ● 自己施工による簡易な基盤整備 ● 農道等の草刈り、清掃作業 ● 鳥獣害防止柵の設置 			

【平成 23 年度までの主な効果】

- ・ 集落内の全体水田面積は 13ha あり、内水稲作付面積は 6ha。
水稲以外ではそばや一般野菜を中心に水田活用している。
中山間交付金制度を活用し、集落ぐるみで水田の維持管理を行っている。
- ・ 協定農用地の拡大については、第 3 期対策において 0.04ha の増となっている。
- ・ 水路、農道の草刈り等日常の管理作業を共同で行うなどの取り組みを進めている。

【今後の課題】

- ・ 協定参加者の高齢化による共同作業への負担。
- ・ 農作業の受委託による農地の集約化

【担い手の確保、集落間連携、事務局機能の体制整備、人・農地プランの策定に向けた取組】

- ・ 機械化営農組合を設立し、農作業の受委託化を進めている。
- ・ 農作業の受委託化を進める中で、新規就農者確保の取り組みを進めた。



中津川市野内集落協定の概要

中津川市の最南端阿木地域の中ほどの一角が野内集落です。中山間直接支払は2期の平成17年から取り組んでいます。

農地・水保全管理支払交付金は、取り組んでいません。

市町村・協定名	岐阜県中津川市 野内（なかつがわし のうち）			
協定面積 15ha	田	畑	草地	採草放牧地
	100%			
交付金額 319万円	個人配分			30%
	共同取組活動 (70%)	農地管理費		36%
		道・水路管理費		16%
		鳥獣被害防止対策費		6%
		積立、その他		12%
協定参加者	農業者27名、非農業者 4名			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 水路・農道の管理 ● 周辺林地の下草刈 ● 農道等の草刈り、清掃作業 ● 鳥獣害防止柵の設置 ● 環境美化活動 			

【平成23年度までの主な効果】

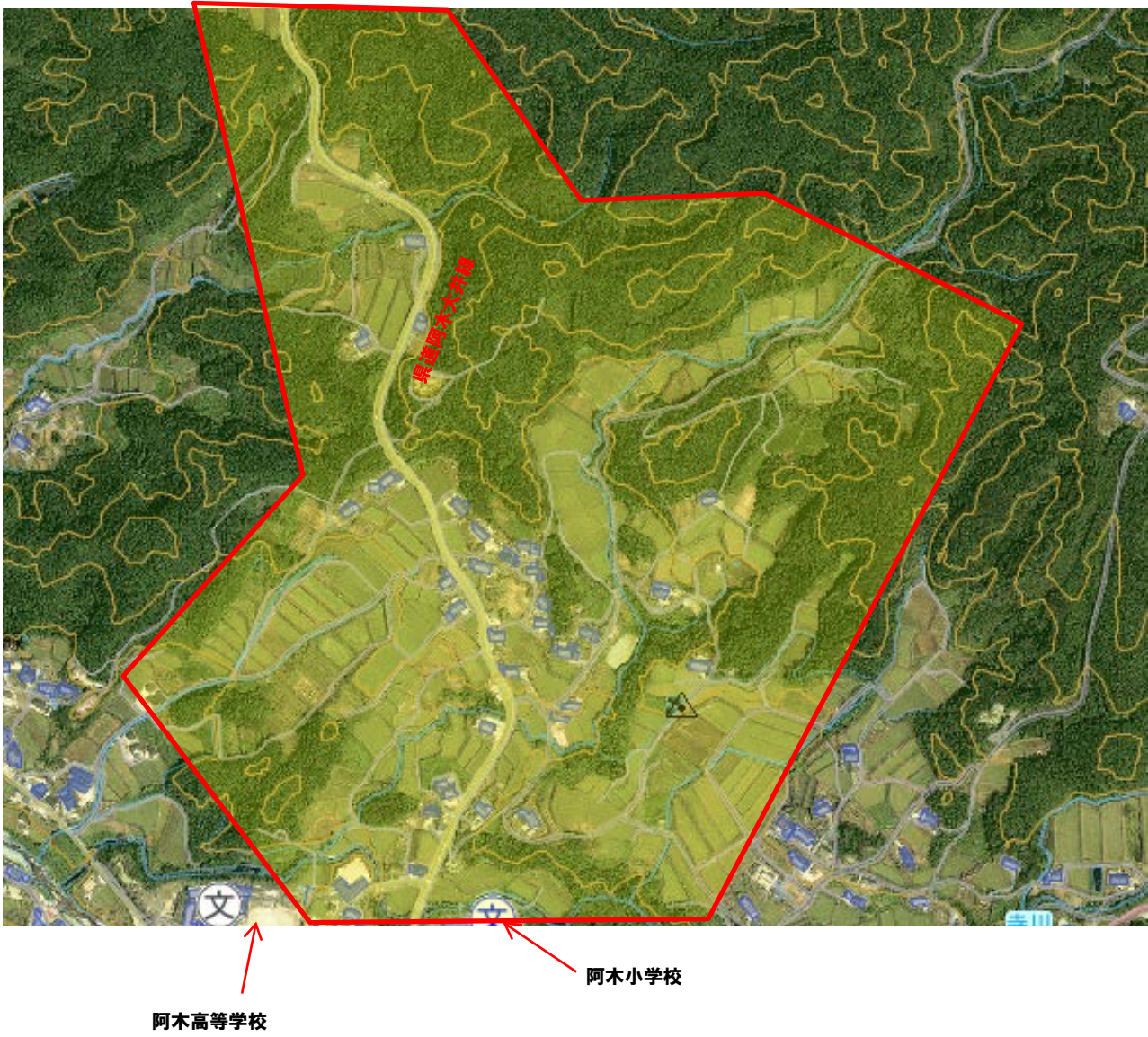
- ・集落内の全体水田面積は17haあり、内水稲作付面積は10ha。
水稲以外では大豆や一般野菜を中心に水田活用している。
中山間交付金制度を活用し、集落ぐるみで水田の維持管理を行っている。
- ・農業生産条件の強化として、新湯水路の補修改良を行うこととし、積立てを行っている。

【今後の課題】

- ・協定参加者の高齢化による、共同作業への負担。
- ・水田の畦畔面積が大きく管理作業に苦慮している。
- ・近年、鳥獣害による作物被害や水田への被害が多く対応に苦慮している。

【担い手の確保、集落間連携、事務局機能の体制整備、人・農地プランの策定に向けた取組】

- ・新規就農者の確保として、集落内の認定農業者が中心となって栽培指導や技術指導に取り組んでいる。



恵那市岩村集落協定の概要

岩村集落は、恵那市の中心部より少し南にあります。ほ場整備は昭和49年～昭和60年に、中山間総合整備事業は平成8年～平成12年に行っています。中山間直接支払は1期の平成12年から取り組んでいます。農地・水保全管理支払交付金は、共同活動での取り組みがあります。

市町村・協定名	岐阜県恵那市 岩村 (えなし いわむら)			
協定面積 278ha	田	畑	草地	採草放牧地
	100%			
交付金額 3,079万円	個人配分			40%
	共同取組活動 (60%)	農地管理費		23%
		土地利用調整関係費 役員報酬・その他		19% 18%
協定参加者	農業者460名、農業生産法人3、その他2			
取組内容	水路・農道の管理 草刈等の実施 周辺林地の下草刈 景観作物の作付け 担い手への農地集積 H21 年度実績 483,900 m ² H26 年度目標 800,000 m ² 既耕作放棄地の保全管理 H26 年度耕作放棄地解消目標面積 30,000 m ²			
農地・水の取り組み	あり			

【平成23年度までの主な効果】

- ・担い手による農用地利用集積面積について、平成23年度までに682,542 m²を集積しており、平成26年度の面積目標の85.3%まで進んでいる。
- ・営農組合を中心として、耕作放棄地解消にも取り組んでおり、平成23年度までに22,883 m²を解消しており、平成26年度の面積目標の76.3%まで進んでいる。

【今後の課題】

中山間地域においては、農作業の効率が悪く、生産コストがかさむことに加え、農地の法面管理(草刈等)に大きな労力が必要である。そのため、高齢化した農家には負担が大きく、担い手による農地管理の必要性が高まっている。

しかし、担い手へ農地管理を委託した場合の農家による費用負担が大きくなれば、委託はせず耕作放棄地になる可能性が大きい。よって、農家負担は少なくし、なおかつ担い手が経営を維持していくためには中山間地域等直接支払交付金が不可欠な状況となっている。

【担い手の確保、集落間連携、事務局機能の体制整備、人・農地プランの策定に向けた取組】

- ・担い手として、集落内に3つの営農組合及び2名の認定農業者があり、農地集積や耕作放棄地解消を進めている。所有者による管理が出来なくなった場合にも農地を引き受ける担い手がいることにより、耕作放棄地の発生防止となっている。
- ・岩村地区は第1期対策から第2期対策への移行時に、集落合併の行政からの働きかけに応じ、40協定を1協定に合併した。合併した当初は、事務処理に苦勞をしていたが、平成19年度より、専属で事務に携わる人材を確保し、現在は事務局の体制整備が出来ている。
- ・恵那市においては、人・農地プランを平成24年6月に策定している。

岩村集落協定 協定農用地図

